



崇城大の学生がバレンタインをテーマに制作した
ショーウィンドー＝熊本市の鶴屋百貨店

バレンタインへ
陳列窓から愛を

鶴屋百貨店で
崇城大生制作

気分はもうバレンタインー。熊本市の鶴屋百貨店に10日、崇城大の学生が制作した個性的なショーウィンドーがお目見えした。手作りのバラを集めて大きなハートをかたどりの「言葉では直接伝えられない、あふれる想い」を表現した。2月14日まで展示される。

同店と、崇城大芸術学部デザイン学科とのコラボレーションウィンドーは今年で6回目。学生同士でアイ

デアを出し合い、昨年
から準備を進めてき
た。

縦2・2尺、横4・
5尺のウィンドー内
に、赤、ピンク、紫の
カッティングシートで
作ったバラ4350個
を敷き詰めたボードを
設置。正面のガラスに
数字を表示し、送る本
数によって意味が異な
るといふバラの花言葉
を添えた。

同科3年の白石友梨
花さん(21)は「一つ一
つのバラに個性がある
ので、本数の意味と合
わせて注目してほしい」と笑顔で話した。

(澤本麻里子)